

わたしとSDGs

第3回 社会 後編 暮らしやすい社会

全世界の人が2030年までに達成をめざす17の目標SDGs。

今回は「社会」に関わる目標のうち、残り4つについて、私たちの暮らしの中でできることを考えてみましょう。組合員さんが実際に取り組んでいることやコープがお手伝いできることを紹介します。



2 飢餓をゼロに



飢餓をゼロに

満足な食事をとれず、栄養不足の人が世界には6億9,000万人います。^(※1) すべての人に食料が行き届くには？

私たちがしていること・できること

- 使いきる、食べきるを心がけている(Sさん)
- 食べきれない分の食材を買う(Nさん)

コープいしかわのお店では、賞味期限の迫った商品のご利用を促し、食品ロス削減に取り組んでいます



3 すべての人に健康と福祉を



すべての人に健康と福祉を

日本の高齢化率は世界最高。少子化により介護の担い手不足など介護問題が深刻に。すべての人々が健康的な生活を送れるようにするには？

私たちがしていること・できること

- 介護を受けなくていいように筋力アップや脳トレに励んでいる(Kさん)
- お互いに助け合おうこと、手伝えることをする(Hさん)



コープいしかわは昨年10月～11月に健康を意識した生活習慣づくりをすすめる「健康チャレンジ」に県内の団体とともに取り組み、975人の組合員が参加しました

4 質の高い教育をみんなに



質の高い教育をみんなに

15歳以上で読み書きができない人は世界で7億7,300万人。^(※2) そのうち3人に2人が女性です。日本でも待機児童や無戸籍者、奨学金返済問題などがあります。みんなが質の高い教育や生涯学習の機会を得るには？

私たちがしていること・できること

- 息子がボランティアで勉強などを教えている(Nさん)
- 仲間たちと読書会を行い、社会問題について話し合っている(Sさん)

コープいしかわではいろいろな学習機会を設けています



5 ジェンダー平等を實現しよう



ジェンダー平等を實現しよう

「ジェンダー」とは男女の生物学的な性差だけでなく、社会的・心理的な性差も含んでおり、先進国でも女性差別や格差は根強くあります。性差による差別や思い込みをなくすには？

私たちがしていること・できること

- 会社が定時で帰りやすい環境づくりや休みやすいコミュニケーションづくりが大切(Kさん)
- 子育てする中で「男の子だから」「女の子だから」と言わないようにしている(Nさん)
- 子どものときからズック洗いや本棚整理などをさせて自分のできるようにさせたい(Tさん)

コープいしかわは「子育てサポート企業」として認定される「くるみん認定」を2009年から4期連続取得しています



※1 出典：2020年版「世界の食料安全保障と栄養の現状」報告書

※2 出典：公益社団法人日本ユネスコ協会連盟 <https://www.unesco.or.jp/activities/terakoya/>